

報道資料

令和5年1月6日(金)

福祉医療部 医療政策局 地域医療連携課 担当:馬場・野坂
電話:0742-27-8653(ダイヤルイン)内線:3110、3111

新型コロナウイルス感染症の院内感染事案（クラスター事案）の発生について （近畿大学奈良病院第3報（最終報））

近畿大学奈良病院において、これまでに入院患者 16 名、職員 16 名 計 32 名の感染が判明しました。感染状況から、入院病棟Aおよび入院病棟Cにおいて院内感染（クラスター）が、入院病棟Bにおいて院内感染が発生したと考えられます。

これを受け、当該医療機関では病棟の職員及び入院患者に健康観察を行ってきましたが、健康観察期間が終了し、新たな感染者の発生は確認されていないことから、院内感染事案は終結し、1月4日から近畿大学奈良病院はすべての病院機能を再開しています。

感染拡大の原因は、感染者の早期発見および感染防御策の徹底が不十分であったことと推定しています。

当該医療機関では改めて職員の感染防御策の徹底（手指消毒、マスク着用、PPE（個人用防護具）着用）および職員・患者への健康管理の徹底を行うなどの再発防止策を講じたところです。

1 発生場所

近畿大学奈良病院（所在地 生駒市乙田町1248番1）

2 感染者の概要（合計 32 名）

- 経緯:入院病棟A 12月8日に1例の感染を確認。濃厚接触者等の検査結果から20例の感染を確認。
入院病棟B 12月10日に1例の感染を確認。濃厚接触者等の検査結果から3例の感染を確認。
入院病棟C 12月19日に1例の感染を確認。濃厚接触者等の検査結果から6例の感染を確認。

・感染者内訳:入院患者 16 名、職員 16 名

20代 12名、30代 2名、40代 2名、60代 3名、70代 6名、80代 5名、90代 2名

	入院病棟A	入院病棟B	入院病棟C
入院患者	11名	2名	3名
看護師	10名	2名	3名
看護補助員	—	—	—
リハビリ医療技術者	—	—	1名
合計	21名	4名	7名

※第2報(12月23日)以降、職員2名の感染が判明しています。

3 県の対応

- ・入院患者の健康観察の徹底と発熱等患者発見時の早期検査実施を指示
- ・職員の日常生活を含めての感染対策の徹底を指示

4 病院の対応(1月6日0時時点)

- ・関係箇所の消毒実施
- ・入院病棟Aの新規入院を休止(12月9日～12月23日)
- ・入院病棟Bの新規入院を休止(12月11日～12月18日)
- ・入院病棟Cの新規入院を休止(12月20日～1月3日)

感染症法第16条第2項による個人情報保護の観点から、個人情報については、特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いします。また、関係者等への取材はご遠慮ください。